



平成 30 年 5 月 18 日

各 位

会 社 名 S B S ホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 鎌 田 正 彦  
(コード番号: 2 3 8 4 東証第一部)  
問 い 合 せ 先 I R ・ 広 報 部 長 齊 藤 哲 也  
(電話番号: 03-3829-2222 (代表))

## リコーロジスティクス株式会社株式の一部取得に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 5 月 18 日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社リコー（以下「リコー」という。）から、同社の子会社であるリコーロジスティクス株式会社（以下「リコーロジスティクス」という。）の普通株式の一部（発行済株式数の 66.6%（小数点第二位以下を切り捨て））を取得（以下「本株式取得」という。）し、リコーロジスティクスを当社の連結子会社化することについて決議しましたので、お知らせします。

あわせて、同日付で、リコーは同社が設立する共同持株会社（以下「JV」という。）に対して、保有するリコーロジスティクスの残りの株式（発行済株式数の 1/3 を超える 33.3%（小数点第二位以下を切り捨て））の全てを譲渡する予定です。その後、リコーは、保有する JV の普通株式の 33.4%を、リコー及びリコーロジスティクスの重要取引先である株式会社大塚商会（以下「大塚商会」という。）に対して、譲渡する予定です（以下一連の取引を総称して「本件取引」という。）。

本件取引は関係当局の承認を前提にして、最終的な株式譲渡を、平成 30 年 8 月 1 日を目途に実施する予定です。

物流業界は、ドライバーをはじめとする人手不足に起因する人件費や外注費の増加に加え、原油価格が上昇局面に入るなど、経営環境はますます厳しさを増しています。このような状況下、当社グループは昨年 12 月 16 日に創業 30 周年を迎え、平成 30 年を第 2 の創業の年と位置付け、新たな目標に向かってスタートをしています。この節目の年に、本株式取得により強力な戦略パートナーを得て、新たな成長戦略を加速させることが可能となります。

## 記

### 1. 株式取得の理由

当社グループは、お客様のサプライチェーン全体に行き渡る物流サービスをご提供し、グループ企業の総合力で、物流にかかわるあらゆる課題をワンストップで解決しています。

一方、リコーロジスティクスは、事務機器大手リコーの物流子会社として、国内外で 3 P L 事

業を展開しており、リコーグループ物流業務全般を担っているほか、大塚商会の「たのめる」を受託するなど、リコーグループ以外のお客様にも物流サービスを提供しています。

本株式取得により、当社グループはメーカー系物流サービスの強化を図り、物流サプライチェーンをさらに強固にサポートする体制を構築することが可能となります。

当社グループの3PLや不動産開発のノウハウ、また過去の物流会社のM&Aを通して培ってきた経営ノウハウを活用することで、リコーロジスティクスの更なる成長・飛躍を実現すると共に、双方のネットワークや顧客基盤、技術、ノウハウを融合させることで生まれる以下のシナジーが、「全方位の物流機能を有する3PL企業集団」を強化し、当社グループの企業価値向上に有効であると考えています。

本件株式取得は、リコーロジスティクスの成長を通じて、現在、リコーが「第19次中期経営計画」の中で掲げている「リコー再起動」を物流面からサポートできると両社が判断し、合意に達したものであります。なお、本件株式取得後も、リコーロジスティクスの全ての常勤役員は留任し、経営の継続性を保ってまいります。一方、弊社から非常勤役員を派遣し、グループの一体化、シナジーの拡大に取り組んでいく所存です。

#### (1) 全国ネットワークの強化

当社グループとリコーロジスティクスの持つ全国ネットワークの融合により、大規模で効率的な物流網を構築していきます。これにより、幅広い顧客のニーズに応えることが可能となり、競争力強化に不可欠なスケールメリットの獲得に寄与します。

#### (2) 機械化・自動化への対応

労働力不足に伴う物流センターの機械化・自動化が急速に進展すると予測されるなか、この分野で先行しているリコーロジスティクスのノウハウを、当社グループ全体で活用し、先進的な仕組みを構築し、グループ全体に浸透させることを目指します。

#### (3) 物流不動産の開発における事業モデルの拡大

当社グループの強みである物流センターの開発ノウハウと、リコーロジスティクスの機械化・自動化ノウハウを活用することで、物流不動産開発の事業モデルの成長をより一層加速させていくとともに、倉庫の有効活用や拠点の集約などにより効率化も併せて進めていきます。

#### (4) サプライチェーンマネジメントの強化

リコーロジスティクスの生産物流ノウハウを活用した物流サプライチェーンマネジメントの領域拡大や、当社グループとリコーロジスティクスの連携によるワンストップサービスの構築など、より広範囲で効率的な物流サービスを提供していきます。

#### (5) 海外事業の拡大

リコーロジスティクスの海外ネットワークやノウハウを取り込むことにより、海外事業の強化を図ります。海外拠点については両社の重複が少なく、シナジー効果は大きいと期待しています。

## 2. 異動する子会社の概要

(1) 名 称	リコーロジスティクス株式会社			
(2) 所 在 地	東京都大田区京浜島一丁目2番6号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 社長執行役員 若松 勝久			
(4) 事 業 内 容	運輸・倉庫業			
(5) 資 本 金	448百万円			
(6) 設 立 年 月 日	1964年2月1日			
(7) 大株主及び持株比率	株式会社リコー 100.0%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態				
	決算期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
	連 結 純 資 産	14,502 百万円	13,430 百万円	13,939 百万円
	連 結 総 資 産	33,634 百万円	32,569 百万円	33,246 百万円
	1株当たり連結純資産	2,231 円	2,066 円	2,145 円
	連 結 売 上 高	74,679 百万円	71,420 百万円	71,725 百万円
	連 結 営 業 利 益	1,957 百万円	2,182 百万円	1,929 百万円
	連 結 経 常 利 益	1,867 百万円	2,092 百万円	2,057 百万円
	親会社株主に帰属する当期純利益	1,278 百万円	1,294 百万円	1,428 百万円
	1株当たり連結当期純利益	197 円	199 円	220 円
	1株当たり配当金	145 円	308 円	214 円 (予定)

## 3. 株式取得の相手先の概要

(平成30年3月31日時点)

(1) 名 称	株式会社リコー		
(2) 所 在 地	東京都大田区中馬込一丁目3番6号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 社長執行役員・CEO 山下 良則		
(4) 事 業 内 容	事務機器、光学機器等の開発、製造及び販売		
(5) 資 本 金	135,364百万円		
(6) 設 立 年 月 日	1936年2月6日		
(7) 純 資 産	988,755百万円		
(8) 総 資 産	2,641,030百万円		
(9) 大株主及び持株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	9.02%	
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6.77%	
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	5.33%	
	日本生命保険相互会社	3.95%	
	BNYMSANV AS AGENT/CLIENTS LUX UCITS NON TREATY 1	3.39%	
	GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL AL (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	3.06%	

	E C M M F (常任代理人 立花証券株式会社)		3.02%
	株式会社三菱東京UFJ銀行		2.90%
	B N Y G C M C L I E N T A C C O U N T J P R D A C I S G ( F E - A C ) (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)		2.73%
	公益財団法人新技術開発財団		2.13%
(10) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	

#### 4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数 : 0個) (議決権所有割合 : 0.0%)		
(2) 取得株式数	普通株式 4,333,333株 (議決権の数 : 4,333,333個)		
(3) 取得価額	リコーロジスティクスの普通株式	18,000百万円	
	アドバイザー費用等(概算額)	300百万円	
	合計(概算額)	18,300百万円	
(4) 異動後の所有株式数	普通株式 4,333,333株 (議決権の数 : 4,333,333個) (議決権所有割合 : 66.6%)		

(注) 取得価額については、銀行借入にて充当する予定です。

#### 5. 日程

(1) 取締役会決議	平成30年5月18日
(2) 契約締結日	平成30年5月18日
(3) 株式取得日	平成30年8月1日(予定)

#### 6. 今後の見通し

本株式取得によりリコーロジスティクスは当社の連結子会社となる予定です。本株式取得が当社の連結業績に与える影響は現在精査中であり、確定次第お知らせします。

#### 7. その他

本株式取得は、当社による私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律第10条第2項に基づく届出について法定の待機期間が経過し、かつ公正取引委員会により排除措置命令等本株式取得を妨げる措置又は手続がとられていないこと等を条件としています。

以上